

| 科目名称 | 臨床看護概論 | 学年学期           | 単位数                                                                        | 時間数 |
|------|--------|----------------|----------------------------------------------------------------------------|-----|
|      |        | 2学年前・後期        |                                                                            | 50  |
| 担当教員 | 田中美恵子  | 授業に関わる<br>実務経験 | <input checked="" type="checkbox"/> 有（ 看護師 ）<br><input type="checkbox"/> 無 |     |

### 【1】授業概要

看護の基本として様々な健康上のニーズをもつ、あらゆる年齢層の人々に既習の基本的な看護の考え方や、知識・技術を統合して応用するプロセス、患者とそれを支える家族が身体的・精神的・社会的にどのような援助を必要とするようになるかを、多角的に学習する。

### 【2】学習目標

1. 患者と家族について理解できる。
2. 疾病の経過（急性期・慢性期・回復期リハビリテーション期・終末期）における患者の心理と特徴、看護のポイントを理解できる。
3. 病院における外来看護の役割、入院および退院時の看護の基本、在宅看護の基礎について理解できる。
4. 症状を示す患者の病態をとらえ、それに対する看護のポイントを理解できる。
5. 健康障害に対してよく用いられる治療や処置の特徴を理解し、それらを受ける患者の看護のポイントを理解できる。

### 【3】ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

### 【4】授業計画

|       | 内容                                                        | 主な授業形態         |
|-------|-----------------------------------------------------------|----------------|
| 1     | 第1章 患者と家族の理解<br>医療を取り巻く環境の変化                              | 講義<br>患者体験レポート |
| 2     | 患者の理解                                                     | 講義 グループワーク     |
| 3     | 家族の理解                                                     | 講義             |
| 4     | 第2章 疾患の経過と患者の理解<br>疾患の発症・外傷の発生から死までの過程と各期および予防の関係         | 講義             |
| 5～7   | 急性期、慢性期、回復期リハビリテーション期の患者の看護                               | 講義 事例演習        |
| 8～9   | 終末期の患者の看護、終末期の患者の看護の実際、死後の処置                              | 講義             |
| 10～11 | 第3章 さまざまな場における看護、外来、入退院時の看護、在宅看護、継続看護                     | 講義             |
| 12    | 第4章 症状を示す患者の看護、全身症状を示す患者の看護                               | 講義             |
| 13～15 | 呼吸器症状、循環器症状、消化器症状を示す患者の看護                                 | 講義             |
| 16～18 | 腎・泌尿器症状、脳・神経症状、精神症状を示す患者の看護                               | 講義             |
| 19    | 第5章 治療・処置を受ける患者の看護<br>手術療法を受ける患者の看護、手術療法の意義・目的、手術療法の特徴、麻酔 | 講義             |
| 20    | 手術療法を受ける患者の看護の実際、術前患者の看護                                  | 講義 DVD         |
| 21～22 | 術中患者の看護、術後患者の看護                                           | 講義 DVD         |
| 23    | 集中治療を受ける患者の看護、放射線療法を受ける患者の看護                              | 講義             |
| 24    | 救急処置を受ける患者の看護                                             | 講義             |
| 25    | 試験・まとめ                                                    |                |

### 【5】評価方法

筆記試験(80%)、レポート(20%)により総合的に判断する。

### 【6】教科書

中村恵子 他著「看護学入門7 基礎看護Ⅱ」第3版 メヂカルフレンド社 2020年

### 【7】参考書

水戸優子 他著「新看護学7 基礎看護[2] 基礎看護技術」医学書院 2020年  
 雑賀美智子 他著「新看護学7 基礎看護[1] 看護概論」医学書院 2020年  
 藤野彰子他 編著「新訂版 看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2019年  
 竹尾恵子 監修「看護技術プラクティス 第4版 2019年

### 【8】受講生へのメッセージ

- ・臨床看護への理解を深める授業です。楽しく学びましょう。
- ・教科書の該当ページ、を読んで講義に臨みましょう。
- ・看護概論、基礎看護技術、成人看護、老年看護、母子看護、精神看護で既習のもの、順次学習するものがあります。既習のものは復習しておきましょう。

|      |               |                |                                                                             |     |
|------|---------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名称 | 臨床看護概論(事例報告会) | 学年学期           | 単位数                                                                         | 時間数 |
|      |               | 2 年後期          |                                                                             | 20  |
| 担当教員 | 田中美恵子         | 授業に関わる<br>実務経験 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 看護師 )<br><input type="checkbox"/> 無 |     |

### 【1】授業概要

学校で学んだ知識・技術・態度を用いて行った臨地実習での学びを、グループメンバーとともに振り返り、レポートにまとめて発表する過程を通して看護に対しての学びを深め意味づけることができる。学習発表会での発表を通して学びを共有する。

### 【2】学習目標

1. グループでの話し合いに積極的に参加することができる。
2. レポート作成の計画書を書くことができる。
3. レポートをまとめる過程を通して実習の学びを意味づけすることができる。
4. 必要な文献や資料を検索することができる。
5. 発表に必要な資料の準備ができる。
6. 学習発表会を通して学びを共有することができる。
7. 1 人ひとりが役割を果たし、グループメンバーで協力することができる。

### 【3】ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- ☒ 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

### 【4】授業計画

|    | 内容                       | 主な授業形態 |
|----|--------------------------|--------|
| 1  | ケーススタディとは、ケースレポート計画書の書き方 | 講義     |
| 2  | グループ決め、テーマ決定             | 演習     |
| 3  | 計画書作成                    | 演習     |
| 4  | レポート作成                   | 演習     |
| 5  | レポート作成                   | 演習     |
| 6  | レポート作成                   | 演習     |
| 7  | レポート作成                   | 演習     |
| 8  | レポート作成                   | 演習     |
| 9  | レポート作成                   | 演習     |
| 10 | 発表                       | 発表     |

### 【5】評価方法

1. ケースレポートをまとめ提出した文章
2. グループ学習の過程、発表内容、発表態度

### 【6】教科書

教科書は指定しない

### 【7】参考書

資料を配付する

### 【8】受講生へのメッセージ

臨地実習での学びを、グループメンバーとともに振り返り、学習発表会での発表を通して学びを共有し、それぞれの学びを意味づけしていきましょう。